

てこれに対する人口100万人圏などを検討することもできます。合併によって、市町村が統計単位地域としての意義を甚だ低下させた現状こそ地理学が主体的に地域を再吟味すべきときであり、その手段としても、数量的方法を発達させねばならぬと思います。(静岡大学教育学部助教授)

## 奈良だより

武久義彦

貴教室と直接関係のない私のところに、「お茶の水地理」の近況欄に何か書くようにとの御連絡がありました。どうしたものかとまよってはみたものの、相手がお茶の水女子大のことであり、極めて名誉なかと考え、一筆させていただくことに致しました。

直接関係ないとはいっても、私が貴教室と全く縁もゆかりもないという訳ではありません。国土地理院在職中には、渡辺先生や式先生のもとで仕事をするのが出来ましたし、地理課にはお茶大出の俊鋭が何人もおられました。また夏休みなどの短期間にせよ、多くの、今は卒業生となった方々が仕事を手伝って下さっていたものです。そのようなことから学外者としては貴教室に顔を出す機会が割合多かったと思います。渡辺先生や式先生がお茶の水に移られたときは羨望の眼差しでお送りしたことを憶えておりますが、その私が奈良の女子大に移るとは、やっと気が付きました。私が御依頼を受けたのは、貴教室卒業生の熱望のためではなく、いわば姉妹校にいるためであると。

さて、奈良にきて三年経ちました。明治村行きの候補になり得るほどクラシックな木造の校舎の一角に陣取っています。はるばる奈良まで来たからには、何かやらねばなりません。先ず、重点的に取りあげたいと考えたのは、地理調査における写真地理学的方法です。理由は二、三あります。

第一に、この分野に関する講義、実習がその重要性に比べ著しく少い事情にあったこと、第二に、私自身が空中写真をみながら地理院で育ってきたこと、第三に、写真地理学の分野は女性にとって好都合な分野の一つであろうということです。大学を出て、職につき、また家庭に入るとなると、地理の研究を続けようと思ってもなかなかまとまった時間はとれないし、野外に出掛けるのは容易ではなくなるでしょう。その点、或る時点の或る地域を机上にいつでも再現してくれる空中写真のあることは何ともありがたいことではありませんか。時間をみつけて、こつこつ研究をまとめて行くのもいいでしょうし、またときには、思い出のフィールドの空中写真をながめてフラストレーションの解消に役立てることだって出来るかも…………。

ともあれ、奈良女でも三年目にしてデルフトの実体鏡とツェイスのダブルプロジェクター(図化機)がやっと入る運びとなりました。従来も反射式の実体鏡は、学生一人に一台の割で整備しておりました

が、さらに、判読や図化の理解のため大いにこれらを利用してもらい、空中写真を学生諸姉各自の研究に役立ててもらおうと考えています。目がいたくなるなどはじめはこぼしていた学生諸姉でしたが、三回生も終りの頃になって、大部写真を上手に利用するようになるのを見るとうれしくもなります。これから写真地理学の分野の充実に心掛けて行きたいと思っています。

国土地理院の時から、常日頃御指導を得、また、奈良にも屢々お越し下さった渡辺先生も近々御退官になられるとのこと、姉妹校にいる者としてもさびしくなります。末筆ながら先生の御健勝をお祈りしたいと存じます。

（奈良女子大学助教授）

## 中 学 教 師 6 年 生

原 高 則

私が助手としてお茶大に勤務したのは、昭和38年4月から39年3月までの1年間でした。勤務といってもその前年から指導いただいた松井先生のそばでの仕事が大部分なので、学生時代の延長のような毎日でした。

お茶大から越谷市の中学校へ転任して、はや6年が過ぎました。無我夢中だったせい、それほどの歳月を感じませんが、越谷市の変遷や教え子の変化を知るにつけ、かなりの時間の経過が意識されます。埼玉県南部地域の例外にもれず、越谷市も都市化の波がおしよせ、赴任当時の田舎っぼい田園地域は住宅都市へと変わりました。人口も約8万から13万人への急増ぶりです。

最初の年に担任した生徒が、今年成人式を迎え20才になり、私と同じ世代になってしまいました。20代といっても私のほうは残り少なくなってしまい、昨年越谷市へ転居が決った時などは、年令的に新世帯かと憶測されてしまいましたが、残念ながらその方面はまだ駄目で、未だ独身、目下物色中です。

6年間の中学教師の生活はいそがしい日々でしたが、好きでとび込んだ道ですので、充実していたと思います。しかし苦勞の種もつきません。

授業の中で社会科の授業はむづかしいほうでしょう。生徒のほうは中学時代に英語や数学で苦しむ者が多いのですが、英・数に比べ社会科は方法論に論議が多く、教師は迷っています。御承知のように中学校社会科は地理・歴史・政経社の3分野に渡り内容が豊富で社会・科学辞典のような性格も要求されます。新指導要領が近く実施されますが、そこには地理的分野の指導方法については、地域区分は従来の七地域区分にこだわらず現場の創意に任せるとあります。中学校の教師に地域区分を任せるとゲタをあづけられたわけですが、これは難点の一例です。むづかしいことを知的水準の低い生徒にわかりやすく教えることは大変で、6年たってもあいかわらず指導案づくりに追われています。